

後援会だより

vol.21

2025.10.1

M I Y A Z A K I M U N I C I P A L U N I V E R S I T Y

い挨拶



宮崎公立大学後援会
会長
河野 雄一

後援会会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

このたび、令和7年度の後援会会長を拝命しました。微力ではございますが、皆様のお力添えを賜りながら、学生の皆様にとってより充実した学生生活をご支援できるような後援会活動となるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

後援会は大学の事業を援助して教育及び研究の振興に資するとともに、会員相互の連絡親睦を図ることを目的としています。学生の福利厚生として資格取得や就職活動など目標に向かう学生への支援や、大学祭や卒業行事といった思い出づくりのお手伝い、様々なクラブ活動への助成など事業は多岐にわたり、学生生活を側面から支える大変意義のある活動となっております。学生が、自己実現に向かって安心して学び、研究を重ね、多様な活動に挑戦できるよう、その環境づくりを支えることが、後援会の大切な役割です。充実した学生生活が安全に送れるよう、これからも継続的な支援を行ってまいります。

そのためにも会員の皆様からご意見やご要望をお受けし、大学事務局の皆様とも連携を図りながら、後援会としてより良い活動が出来るよう取り組んでまいります。

今後とも、後援会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 宮崎公立大学後援会役員

役職名	氏 名	学生学年
会 長	河野 雄一	2
副会長	黒田 亜紀	4
//	山田真太郎	3
//	谷 千穂	2
理 事	金丸 誠次	3
//	渡邊 繁美	3
//	岩下 里美	2
//	メイン美紀	2
//	石原 順子	1
//	伊東 雅也	1
//	杉本 香織	1
監 事	柏田 明美	4
//	黒岩 睦代	4

今年度は、この13名となります。
どうぞよろしくお願い申し上げます！

学友会



学友会会長 新地 芽衣子（3年生）

初めまして。第16代学友会会長の新地芽衣子と申します。学友会は、3年生4名・2年生3名・1年生2名の計9名で活動しています。

今年度は4月に新入生歓迎会を開催し、ボランティアの方々のご協力もいただきながら、180名以上の学生に楽しんでいただくことができました。10月以降は、スポーツデイや音楽祭、外部の学校とのコラボイベントなど、学生同士の交流や楽しめる場につながる企画を計画しています。

ミーティングでは「学生にもっと楽しんでもらえる企画は何か？」をテーマに、先輩後輩関係なく自由に意見を出し合い、アットホームな雰囲気です話し合っています。

イベント当日は、会場の準備や進行の確認、ボランティアとの連携など、多方面に動きながらスムーズな運営に奔走しています。大変なこともあります。参加者の笑顔や「楽しかった」という声が、私たちの一番の励みです。また、Instagramを中心に広報活動を行い、学生にとって情報が届きやすい発信を心がけています。

少人数のため一人ひとりの役割は大きいですが、責任感を持って協力し合い、ボランティアの皆さんのサポートを得ながら、毎回の企画に全力で取り組んでいます。

今後は、より多くの学生が気軽に参加できるイベントや、参加者同士の交流が自然と生まれるようなイベント企画にも挑戦していきたいと考えています。

常に支えてくださる後援会や大学関係者の皆さま、そして学生ボランティアの皆さんのおかげで、こうした活動が成り立っています。心より感謝申し上げます。

これからも学友会らしく、学生のために尽力し、より良いキャンパスライフをサポートしてまいります。





就職に強い大学

公立大学法人宮崎公立大学
理事長 亀田 英信

後援会の皆様には、日頃から本学の運営にご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

本学は、今年の春、206名の卒業生を輩出しましたが、就職率は99.5%で過去最高となりました。近年、学生の就職状況は、売り手市場が続いており、全国的に高い就職率になっていますが、本学は、全国の就職率を上回る高い就職率を維持しております。

これも、キャリア教育や就職支援はもとより、本学の特徴である「リベラルアーツ教育を基本とした学び」、「グローバル人材の育成に向けた国際理解や質の高い語学教育、留学支援」、さらには、「問題解決能力の修得のための実践的な演習」などによる学修成果が、企業等から高い評価を得ているものと確信しているところでございます。

一方で、現在の就職活動は、企業の採用活動が早期化していることから、準備不足や気持ちの焦り、学業との両立の困難さなど、不安を抱えている学生もいらっしゃいます。

このようなことから、本学は、3年生全員を対象とした個別面談や国家資格を取得している相談員による就職相談を実施するなど相談体制を強化しているところですが、引き続き、学生の皆さんが、自己理解を深め、幅広い選択肢の中から最も自分にあった就職先や進路を決定できるようキャリア教育・就職支援の充実を図ってまいりたいと考えております。

後援会の皆様には、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



地域とともに歩む 宮崎公立大学の挑戦

宮崎公立大学
学長 辻 利則

後援会の皆様には、日頃より本学の教育・研究活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、宮崎公立大学では、ビジョンである「国際」「地域」「つながり」の3つのキーワードを軸に、様々な取り組みを進めています。小規模な大学だからこそ、限られたリソースの中で重点的に取り組む分野を見極め、地域の皆様や関係団体と連携しながら、地域に根ざした活動を展開しています。その中心には常に、学生の皆さんの存在があります。

昨年度、宮崎市の国際交流関係の課が本学に移転したこともあり、国際交流がさらに活発に行われるようになりました。最近では、アメリカ、中国、韓国などからの国際交流員の方とランチミーティングも開催されています。

昨年12月には宮崎県聴覚障害者協会と連携協定を締結しました。音声言語に加え、手話という新たなコミュニケーション手段に触れることで、学生たちの視野が広がることを期待しています。本学でデフカフェや手話教室など開催され、多くの学生が参加しています。

一方、私たちの暮らす地域は、自然災害への備えも重要な課題です。昨年8月には日向灘沖で地震があり、今年7月にはロシア・カムチャツカ半島沖の地震に伴い津波注意報が発令されました。防災意識の一層の向上が求められています。

本学では、平成26年度より「自然災害と防災・減災」という防災士養成講座を開講し、これまでに635名の学生が防災士資格を取得しています。昨年3月には京都大学防災研究所と学術交流協定を締結し、地域の防災教育のさらなる充実を進めているところです。この防災士資格の取得にあたっては、受験料の一部を後援会の皆様にご支援いただいております。改めて深く感謝申し上げます。

今後も、地域とともに歩み、学生とともに進化する大学として、宮崎公立大学は新たな挑戦を続けてまいります。これからの宮崎公立大学に、どうぞご期待ください。

引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度 入学式が行われました

4月2日、214名の方が入学されました。後援会で「入学式撮影パネル」を設けており、晴れやかな笑顔で記念撮影する姿が多く見られました。また、今年は宮崎市キャラクター「みやねこ」もお祝いに駆けつけてくれました。



クロスラウンジに 生まれ変わりました



図書館に入ってすぐのスペースが「クロスラウンジ」となりました。

心地よいBGMが流れるなか、新聞や雑誌を読んだり、おしゃべりや飲食もできつづける場所となりました。この度、後援会の援助でウォーターサーバーを設置しました。学生だけでなくどなたでもご利用できます。



後援会では様々な支援を行っています

支援1 資格取得への支援

年間延べ398名に検定料金の補助金を支給しました。主なものは

TOEICなど英語：283名 韓国語：61名
中国語：31名 情報処理：9名です。



支援2 クラブ活動への支援

認定された課外活動団体へ、活動助成金や登録料、大会参加費やユニフォーム購入の助成を行いました。個人で活躍する競技にも、大会参加費や旅費の一部を助成しました。

支援3 学友会・凌雲祭への支援

学生が中心となって実施する、学友会行事や凌雲祭への助成を行いました。

入会のご案内

後援会は、皆さまからの会費を唯一の財源として様々な支援を学生に行っておりますが近年は、未入会者が増える傾向にあります。

後援会では、保護者の皆さまとともに充実した学生生活を送れるような環境づくりを進めています。ぜひ、ご入会いただき、共に学生たちの未来を応援していきましょう。

就職活動の支援として

各種講座の助成・就活手帳の作成や大学名入り履歴書の配付を行っています

ぜひご利用ください



公務員講座

高城 結衣（4年生）

私は大学3年生になり、将来について真剣に考え始めた頃、学内で開催された公務員講座の説明会に参加し、公務員という進路を視野に入れるようになりました。当初は右も左も分からず、どのように対策を進めればよいのか不安でいっぱいでしたが、公務員講座を受講することで、筆記試験だけでなく、面接・論文・時事対策など幅広いサポートを受けることができました。

また、後援会から助成金を頂いたことで、より安心して挑戦できる環境で対策に励むことができました。こうした支援や周りの方々の支えがあったからこそ最後まで前向きに取り組み、無事に就職活動を終えることができたと感じています。改めて、支えてくださった周りの人への感謝の気持ちを胸に、今後も努力を惜しまず励んでいきたいと思ひます。

エアライン講座

上岡 愛海留（4年生）

私は以前から航空業界を目指しており、宮崎公立大学独自の「ジェイエア株式会社客室乗務員インターンシップ」に参加しました。その際に後援会より助成金をいただいたことで、現地での業務や客室乗務員の責務を間近に学ぶことができ、接遇の在り方や安全運航を支える姿勢など、多くの貴重な学びを得ることができました。また、TOEIC受験に際してもご支援をいただき英語力向上に努めることができました。これらの経験を通じ、憧れであった客室乗務員への理解が一層深まり、夢を実現したいという思いが強くなるとともに、その後の就職活動への大きな原動力となりました。後援会のご支援のおかげで挑戦を続けることができ、念願の客室乗務員として内定をいただくことができました。



就活手帳には、スケジュールが書き込み
就活の進め方やマナー等が記載されています



大学名入りの履歴書



就活に役立つ雑誌も購入しています

凌雲祭

テーマ「**繋**」

2025

11/1 土 - 11/2 日

こんにちは！今年度、凌雲祭実行委員長を務めます、佐藤建太です。

昨年度は悪天候の中での開催となりましたが、多くの来場者に来ていただきました。今年度はさらに規模を拡大し、より多くの方々に来ていただこうと実行委員一同、全力で準備を進めております。

今年度のテーマは「繋」。この凌雲祭を通して地域の方々や学生、留学生との繋がりを深め、国や言語、地域を超えた繋がりを生もうという思いが込められています。当日は皆さんが楽しめるような企画や出店などをご用意しております。委員一同皆さんをお待ちしております。

ぜひ、11/1（土）・11/2（日）は宮崎公立大学へお越しください！



第33回凌雲祭 実行委員長
佐藤 建太（3年生）

活躍する部活動紹介

ダンス部

部長 飛高 美羽（3年生）



こんにちは、ダンス部です。

私たちは男子1名・女子30名計31名で活動しています。1年生から3年生まで、学年関係なく楽しく練習に取り組んでいます。

7月には「えれこっちゃ宮崎」に出演し、一生懸命練習した成果をお見せできました。みんなで力を合わせた分、大きな達成感と喜びを得ることができました。11月には、凌雲祭でのステージも予定しています！「えれこっちゃ」とはまた違った、さまざまなジャンルのダンスを楽しんでいただけるので、ぜひご期待ください。

これからも部員一同、元気に活動していきます。応援よろしくお祈りします。

かるた部

部長 尾崎 友泉（3年生）



私たちかるた部は、現在8名で活動しています。部員数の減少により、一時的に活動が停滞していましたが、部員同士の協力により徐々に活動を再開し、新入部員を迎えたことで今年度部活動へと昇格することが出来ました。



競技かるたは難しいイメージがありますが、未経験者が多く部員同士で教え合いながら和やかな雰囲気です。現在は活動を楽しみながらも、11月の大会に出場することを目標に頑張っています。今後とも応援よろしくお祈り致します。



宮崎案内

宮崎には美味しいもの、絶景ポイントがたくさんあります。今回は「道の駅なんごう」（日南市南郷町）をご紹介します。宮崎市から車で約1時間、国道448号線沿いにある道の駅です。特におすすめの季節は初夏のジャカランダが咲く季節です。青い空、紫の花々、紺碧の海のコントラストは絶景です。

完熟マンゴーや日向夏などの宮崎ならではのフルーツたっぷりのパフェをテラスで食べるのもおすすめです。ぜひ、足を延ばしてください。



編集後記

今年の「後援会だより」が出来上がりました。どうぞご覧ください。

後援会では、後援会活動についてのご意見やご要望を募集しています。

お寄せ下さった方の中から3名様に粗品をお送りいたします。下記のアドレスまたは住所に、住所・お名前・電話番号と今号のご感想も添えてお送りください。締切は11月30日です。たくさんの声をお待ちしております。

（事務局：渡辺 公美）

